令和7年5月13日

令和7年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎
東京ITプログラミング&会計専門学校仙台校
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価委員会が作成した「令和6年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。
その結果を以下の通り報告いたします。

1. 令和7年度学校関係者評価委員会

<委員> (五十音順)

青野 也寸志 氏 宮城県立支援学校岩沼高等学園 教諭
柿田 光太郎 氏 リコージャパン株式会社 マーケティング本部
宮城支社 第一営業部 アシスタントマネージャー
笹森 大地 氏 太陽有限責任監査法人 東北事務所
難波 菜緒 氏 株式会社ステージライン 専務取締役

<事務局>

中川 知之 東京ITプログラミング&会計専門学校仙台校 校長
鈴木 祐一 東京ITプログラミング&会計専門学校仙台校 教務部課長
渋谷 恭兵 東京ITプログラミング&会計専門学校仙台校 教務部課長
千枝 達也 東京ITプログラミング&会計専門学校仙台校 教務部課長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
基準1 教育理念・ 目標・育成人材像	<p>イ. 教育理念、目的、育成人材像について定められているか 目的及び育成人材像については、学則に明確に定めており、ホームページにも公開をしている。学園の目標として「学生から信頼され支持される学校づくり」を掲げ教職員一丸となり取り組んでいる。</p> <p>ロ. 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか 本学独自のゼミ学習で勉学を進めることによって明るく楽しい学園生活と資格取得実績、民間企業就職実績が両立している。</p> <p>ハ. 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか 現状では、3～5年にかけては拡大戦略を立てず、既存の学校の内容充実に努める。 (意見) 適切で問題ない。ゼミ学習により資格・就職実績が出ている。</p>
基準2 学校運営	イ. 目的に沿った運営方針が策定されているか

	<p>本学では「学生から信頼され支持される学校づくり」を基本目標とし、学校運営をしている。この基本目標は教務室、事務室、受付などで学生からもよく見える場所に掲示してある。</p> <p>ロ. 学校のための組織を整備しているか</p> <p>運営するための組織図があり、それに従って運営されている。各部署には学校の目標達成のために数値目標が明確にされており、各部署の役割と権限、人的体制が整っている。運営組織や意思決定機能は効率的なものになっている。</p> <p>また、就業規則、育児休業規程、介護休業規程、母性健康管理のための休暇規程、教職員給与規程、法令遵守規程、ストレスチェック制度規程、ハラスメント防止規程などの諸規程が整備されている。</p> <p>ハ. 人事、給与に関する制度は整備されているか</p> <p>就職指導、資格試験指導、対外活動などで顕著な成果を収めた者はその都度表彰している。昇進・昇格試験時に人事考課をしている。</p> <p>賃金の支払い基準を明確に定め、適正に運用している。</p> <p>二. 意思決定システムは整備されているか</p> <p>日常的な意思決定は、管理職が行っている。学校間の調整は運営本部または部次長会議で行っている。理事会、評議員会、部次長会議、責任者会議、課会議といった意思決定プロセスが制度化され、その権限を明確にしており、意思決定システムは確立されている。</p> <p>ホ. 情報システム化などによる業務の効率化が図られているか</p> <p>情報システムについては、学務システム（入試システムおよび学籍管理システム）、経理システムを個々に運用しインボイス制度に対応している。なお、就職部は求人情報と学生情報をデータベース化して業務の効率化を図っている。在学生への求人情報の提供、学校が取りまとめる求人への申込をオンライン化し、「就職支援ポータルサイト」として運用している。</p> <p>（意見）適切である。ゼミ学習を通じて、支持される学校づくりが実現されていることが、ホームページでも確認でき、目的がしっかり見える化され、労務管理、システムセキュリティもしっかりしている。</p>
<p>基準3 教育活動</p>	<p>イ. 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているかまた、学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか</p> <p>各学科とも修業年限で「企業が求める人材像」のレベルまで達するようなカリキュラムを編成している。なお、公認会計士、税理士や高度情報技術者などの超難関資格を目指す学生には研究学科への進学を可能とし、さらにレベルアップできる体制を整えている。</p> <p>各学科の目標を明確にし、学内就職セミナー等で「企業が求める人材像」を学生に明示しており、学生が専門的知識や技術を修得した上で、多岐にわたる業界や職種の人材ニーズに対応できる教育を実践している。</p> <p>ロ. 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか</p> <p>教育課程は、年2回開催する教育課程編成委員会での外部委員の意見を参</p>

	<p>考に、カリキュラム作成委員会において社会のニーズに対応するために必要な科目を体系的に編成している。また、カリキュラム会議において各学科で目標とする資格取得のために定期的に見直しを実施している。</p> <p>ハ. 学科などのカリキュラムは体系的に編成されているか</p> <p>年2回開催する教育課程編成委員会で外部委員の意見を参考にカリキュラム作成委員会において、社会ニーズに対応するために必要な科目を体系的に編成し、定期的に見直しも行っている。</p> <p>ニ. キャリア教育を実施しているか</p> <p>専門知識や技術以外にもビジネスマナー、コミュニケーション能力などを育成するキャリア教育を実践するため、該当する授業科目を設置し、また企業の採用担当者による学内就職セミナー等を実施している。</p> <p>平成26年度より文部科学大臣が認定する職業実践専門課程制度が発足し、2年制学科はすべて職業実践専門課程の認定を受け、企業等と連携した実践的な演習を各学科で実施している。</p> <p>ホ. 授業評価を実施しているか</p> <p>授業運営の適否を判断し、授業システムの見直しをするため、学生による授業評価アンケートを実施するとともに、教育課程編成委員会での外部委員の意見を取り入れている。</p> <p>ヘ. 成績評価・修了認定基準を明確化し適切に運用しているか</p> <p>学生の成績評価および単位認定は、その基準を明確に定め、学則、専門課程便覧などで学生にも周知徹底し、厳正に実施している。また、成績評価は本学ホームページ上にも公開している。</p> <p>令和元年度よりGPA算定をするために、システムを改修した。GPAの算定は、ホームページ上に公開している。</p> <p>ト. 資格・免許取得の指導体制はあるか</p> <p>各学科で目標とする資格・試験を明確に定め、その合格がより確実になるようなカリキュラム編成をしている。試験終了後カリキュラム会議を開き、その内容を次のカリキュラムに反映させている。</p> <p>チ. 資格・要件を備えた教員を確保しているか</p> <p>学科の育成目標に向け授業を行うことができる教員として、専門性、人間性、教授力、必要資格等の諸要件を備えた人材の確保はできている。</p> <p>リ. 教員の資質向上への取組みを行っているか</p> <p>教員の専門性や教授力等を常にレベルアップするため、企業等との連携により最新の動向を取り入れる研修を実施している。</p> <p><各学科で実施している教員研修の紹介></p> <p>(意見) パンフレット、公式ホームページ、教育課程表やシラバスがしっかり確認でき、教員研修も取り入れながら、実績を継続して出せている。また、立志舎を卒業した社会人が活躍している。結果が伴っているので、適切で問題ない</p>
基準4 学修成果	<会計学科：資格取得実績・就職実績の紹介>

	<p><経理・情報研究学科：資格取得実績・就職実績の紹介> (意見) 難易度の高い試験に合格者を継続して輩出し、先生方も新しい知識を入れるための研修に参加している、指導体制においても良い方向にいくのではないかと思う。</p> <p><IT ビジネス学科：資格取得実績・就職実績の紹介> (意見) 教員研修の内容がセキュリティというトレンドにマッチしている。業界就職率の実績は充分である。</p> <p><ビジネス学科：資格取得実績・就職実績の紹介> (意見) 受け身の姿勢でない積極性のある学生を育てており、社会からも認められている。</p> <p>イ. 就職率の向上が図られているか 本学では就職率 100%を目指している。就職担当者とクラス担任が連携して学生の指導にあたっており、厳選採用傾向の強い大手企業への就職を決めている。本学の就職は基本的に正社員採用ということも特徴である。</p> <p>ロ. 資格・免許取得率の向上が図られているか 資格取得については公認会計士試験、税理士試験、日商簿記検定試験、情報処理技術者試験、旅行業務取扱管理者等において資格取得率の向上を図っている。本学は例年、公認会計士、高度情報技術者や旅行業務取扱管理者の各試験において、現役合格者を輩出している。 多くの学生が公認会計士、税理士、情報処理技術者、旅行業務取扱管理者等の資格を取得することにより社会的評価を受けている。 (意見) 多様性を持つ学生が多くなっている中、実績を上げているのが素晴らしい、職員同士も連携を取っているのがわかる、適切かつ妥当な評価である。</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p>イ. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか 就職指導については、就職相談室を設け、就職担当者及びクラス担任が学生の就職相談、履歴書の書き方、業界・企業研究、筆記試験対策、面接対策などの指導を行っている。また、企業の人事担当者を招き学内就職セミナーを実施している。就職支援ポータルサイトを運用し、求人票のリアルタイムな閲覧、エントリーの一元化、就職部と学生の連絡手段として活用し、学生が就職活動をスムーズに行えるように支援している。</p> <p>ロ. 学生相談に関する体制は整備されているか 学生は、いろいろな悩みを持っており、それらの相談はまず担任にするが、担任に話せない事柄もあり、その時は、学生相談室が設けられているので学生は相談室の担当者に相談している。学生相談室は、匿名での電話・オンラインによる相談にも応じている。日常コミュニケーションチェック表を用いて、学生の様子を毎日記録している。</p> <p>ハ. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか 日本学生支援機構の奨学生制度などの他に本学独自の特別奨学生試験、各種特待生制度や学費延納制度などがある。令和2年4月よりスタートした高</p>

	<p>等教育の修学支援新制度対象校として宮城県より確認された。引き続き次年度も確認されている。</p> <p>ニ. 課外活動に対する支援体制は整備されているか</p> <p>野球部、サッカー部、吹奏楽部などのクラブ活動や体育祭、学園祭、球技大会などの課外活動が盛んであり、学生主体で実施し、教職員が助言、指導をしている。</p> <p>ホ. 学生の生活環境への支援は行われているか</p> <p>隔地出身者への生活環境支援は必要であり、学生寮運営に実績のある会社の寮を学校提携寮として紹介している。また、学生マンションの企画、管理、仲介を全国的に行っている企業と業務提携している。</p> <p>ヘ. 保護者と適切に連携しているか</p> <p>学生に対して適切な指導、相談を行うためにも、出席状況、成績表を年に2回、学生相談室、就職相談室のお知らせ等を保護者に送付している。また、必要に応じて保護者と面談を行い、学生の指導に役立ており、その内容を学務システムに記録している。</p> <p>ト. 卒業生への支援体制の整備や社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか</p> <p>同窓会の組織化、卒業生のフォローアップ体制の整備は、今後検討すべき課題である。卒業後の再教育プログラムの整備、社会人のニーズを踏まえた教育環境の整備についても今後検討すべき課題であると認識している。</p> <p>(意見) 適切である。担任以外の相談窓口として学生相談室の設置があるのは良い。</p>
<p>基準6 教育環境</p>	<p>イ. 施設・設備は、教育上支障がないように整備されているか</p> <p>令和6年度にノートパソコンを追加で40台導入し計200台設置、デジタル教材の活用のため全ての教室に大型モニタを導入した。校内にWi-Fi環境とサーバ設備を設置して、常時オンライン授業を実施できる体制を整えている。令和6年度にマシントレーニングの改修を行った。例年、国内添乗実習を実施している。希望する学生はリゾートホテルにおいてインターンシップを実施した。</p> <p>(意見) 充分すぎるくらい環境が整備されていると思う。</p>
<p>基準7 学生の受け入れ募集</p>	<p>イ. 学生募集活動は適正に行われ、募集活動において教育成果は正確に伝えられているか</p> <p>入学案内書やガイドブック作成にあたっては、その内容や表現において真実性、明瞭性また法令遵守が必要であることを認識し、広報を中心に作成している。そのため、具体的な数字を示すことや合格者の氏名のイニシャルを公表することにより、志望者や保護者の方からの信頼を得られる内容になっていると考えている。</p> <p>ロ. 入学選考は適正に行われているか</p> <p>入学選考は宮城県専修学校各種学校協会の規定に沿って作成した募集要項</p>

	<p>により適正に選考を実施している。提出された入学願書の志望理由を中心に調査書・成績証明書も参考にして本学教育内容の理解度や今後の熱意を把握し合否の判定を実施している。</p> <p>ハ. 学納金は妥当なものとなっているか</p> <p>学納金に関しては学校の財政基盤の問題が出ないように適正かつ妥当な金額に設定している。本学は法人単位での財務情報の公開体制を採っており、学納金が適正かつ公正に使用されていることを明らかにしている。</p> <p>(意見) 真実の実績を具体的・客観的に出していて適切で問題ない。</p>
<p>基準8 財務</p>	<p>イ. 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか</p> <p>財務については、事業活動収支差額の状況、主要な貸借対照表比率等から判断するに、今後、財務基盤の安定化にさらに努めていく必要がある。</p> <p>ロ. 私立学校法及び寄付行為に基づき、適切に監査を実施しているか</p> <p>法人寄附行為に基づき監査を実施し、その結果を監査報告書に記載し、理事会および評議員会へ報告している。</p> <p>ハ. 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか</p> <p>財務情報の公開は、私立学校法の規定に基づき、財務情報公開規程を定め、開示請求に対応する体制を整備している。</p> <p>(意見) 財務情報がしっかりと公開されており、適切である。</p>
<p>基準9 法令等の遵守</p>	<p>イ. 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか</p> <p>「学生から信頼され支持される学校づくり」を基本目標に、教職員には毎年人権研修の受講を義務付けるとともに、その他必要に応じて研修等に派遣したり、資料を配布したりするなど、法令、設置基準を遵守するための施策として法令遵守規程を作成し施行している。</p> <p>ロ. 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか</p> <p>学生に対しても入学時に配布する専門課程便覧に「ソーシャルメディアガイドライン」、「ハラスメント防止ポリシー」を記載して法令遵守および道徳指導を実施している。個人情報保護に関しては、個人情報保護規程（個人情報保護指針）、プライバシーポリシーを設定している。</p> <p>ハ. 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか</p> <p>「自己点検・自己評価委員会」を設置し、私立専門学校等評価研究機構の基準校評価研究機構の基準により点検、評価を実施している。</p> <p>ニ. 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか</p> <p>学校情報は、文部科学省のガイドラインに従い、ホームページにて公開している。</p> <p>(意見) しっかり法令等を遵守されており、適切である。</p>
<p>基準10 社会貢献・地域貢献</p>	<p>イ. 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</p> <p>地域との連携、交流、諸外国の学校などとの連携、社会問題についての啓蒙などが社会貢献となり、また学校の発展につながるという観点で、高校生の</p>

	<p>各種無料セミナーの実施、宮城県高等学校文化連盟への講師派遣・会場提供、学生への情報提供、省エネ、エコ活動の取り組みなどを行っている。</p> <p>ロ. 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか</p> <p>学生のボランティア活動を奨励している。学生による近隣清掃を定期的実施している。</p> <p>(意見) 適切である。学生主体の活動を通して、コミュニケーション能力や主体性の向上が期待できる。</p>
--	---

総括

1. キャリア教育・職業教育のパイオニアとして、時代や産業構造の変化に対応しながら、社会に求められる人材を着実に育成されている点は非常に心強く感じた。単なる知識や技術の習得にとどまらず、現場で即戦力となる力を育てる教育姿勢は、今後の専門学校教育のあり方を示す好例だと感じている。特に印象的だったのは、先生方の一人ひとりが学生の成長を真剣に願い、熱意を持って教育にあたられていることである。先生方が一生懸命だからこそ、学生もその姿勢を受け止め、真剣に学び、努力する姿勢を自然と身につけている。こうした相互の信頼関係が、教育効果を高め、成果の継続につながっているのだと実感した。
2. 企業において情報セキュリティがますます重視される中で、教員自らが研修を受け、最新のトレンドを積極的に取り入れている姿勢も非常に素晴らしい。SNS やインターネットの利用が当たり前になっている現代において、学生に対するセキュリティ教育の重要性は増しており、基本的なリテラシーから応用まで、一層の指導の充実が望まれる。今後もそのような分野に注力していかれることを期待している。
3. さらに、自主性を持った学生が多く育っている点にも大変感銘を受けた。受け身ではなく、自ら課題を見つけて取り組む姿勢や、周囲と円滑にコミュニケーションを取りながら協力して物事を進める力は、これからの社会において非常に重要な資質である。そのような力を、学校全体で一貫して育てている姿勢は大いに評価できる。社会に出てからも活躍できる人材をこれからも輩出されていくことを強く期待している。引き続き、専門学校としての使命を果たしつつ、教育現場のさらなる発展を願っている。